

2019年実施「愛甲商工会・個社経営概況並びに地域経済動向調査」報告書

2020年1月7日

愛甲商工会

## 目次

1. 調査の目的
2. 調査の目標
3. 調査書の決定
  - ・ 調査対象
  - ・ 調査期間
  - ・ 調査実施と提出方法
  - ・ 調査並びに集計にあたっての特記事項
  - ・ 調査書の内容
4. 地域経済動向調査の全体集計とグラフ化
5. 各種 2 次データと比較した個社の特徴
6. 調査結果の視覚化（見える化）：景気判断（個社経営概況）指数
  - ・ 本調査における景気動向指数（個社経営概況指数）の定義
  - ・ 全産業の DI 指数（全産業の景況天気図）
  - ・ 業種別の DI 指数（業種別の景況天気図）
7. 愛甲商工会オリジナル指数
  - ・ 愛甲商工会オリジナル指数の定義
  - ・ オリジナル指数の集計と結果
8. 金融機関向けアンケートの実施と融資先事業者の現状
9. 調査に関するお問合せ先

## 1. 調査の目的

愛甲商工会管内の個社の経営状況や概況、さらには、その結果を集約した地域経済の概況や躍動度等を把握し、その結果を基にした「商工会の事業者（個社）支援業務のあり方」を検討することである。

## 2. 調査の目標

調査の目標は主に以下の3点である。

- ・業種毎の個社の経営概況等を踏まえ、景況感を可能な限り「視覚的に」表現する。
- ・業種毎の個社の近未来における経営や運営姿勢を踏まえ、景況見通しを「視覚的に」表現する。
- ・得られた業種毎の地域景況感や、個社の経営や運営姿勢を踏まえ、商工会事業の施策に具体的に落とし込む。

## 3. 調査書の決定

### ・調査対象

調査対象は愛甲商工会 管内の事業者すべて（個人事業も含む）である。

### ・調査期間

2019年10月1日から11月15日迄

### ・調査実施と提出方法

郵送にて調査書を郵送し、回答の上、同封の返信用封筒にて返送していただくことを原則とする。ただし、回収率を高めるため、愛甲商工会に直接持参、ファックス、メール、どの方法でも受付は可とした。

愛甲商工会 所在地：〒243-0301 神奈川県愛甲郡愛川町角田104-4

ファックス：046-286-2762

メール：nwada@k-skr.or.jp（和田宛）

### ・調査並びに集計にあたっての特記事項

本調査におけるサービス業の対象は、宿泊業、生活関連サービス業・娯楽業、医療・福祉サービス、学術研究・専門・技術サービス業、教育学習支援、運輸業、情報通信業を含む。またその他には、金融業のほか、製造業、卸売業、小売業、建設業、不動産業、



- 1) 個人事業
- 2) 100万円以下
- 3) 300万円以下
- 4) 500万円以下
- 5) 700万円以下
- 6) 900万円以下
- 7) 1000万円以下
- 8) 1001万円～5000万円以下
- 9) 5001万円～1億円以下
- 10) 1億1円～3億円以下
- 11) 3億1円以上

≫愛甲地域の事業運営傾向を把握するための質問

質問（7）

本年は昨年に比べ業績(売上-費用=利益、つまり利益)はどうでしたか？当てはまるものを「○」で選んでください。

- 1) 良くなった
- 2) やや良くなった
- 3) 変わらない
- 4) やや悪くなった
- 5) 悪くなった

質問（8）

本年は昨年に比べ売上高はどうでしたか？当てはまるものを「○」で選んでください。

- 1) 良くなった
- 2) やや良くなった
- 3) 変わらない
- 4) やや悪くなった
- 5) 悪くなった

質問（9）

来年の業績(売上-費用=利益、つまり利益)見通しは、当年の推移から判断すると、どのような予想でしょうか？当てはまるものを「○」で選んでください。

- 1) 良くなる
- 2) やや良くなる
- 3) 変わらない
- 4) やや悪くなる
- 5) 悪くなる

質問（10）

来年の売上高見通しは、当年の推移から判断すると、どのような予想でしょうか？当てはまるものを「○」で選んでください。

- 1) 良くなる
- 2) やや良くなる
- 3) 変わらない
- 4) やや悪くなる
- 5) 悪くなる

≫愛甲地域の求人動向を把握するための質問

質問（11）

本年は昨年に比べ雇用人数はどうでしたか？当てはまるものを「○」で選んでください。

- 1) 増えた
- 2) 変わらない
- 3) 減った

質問（12）

来年の雇用人数見通しは、当年の推移から判断すると、どのような予想でしょうか？当てはまるものを「○」で選んでください。

- 1) 積極的に増やす
- 2) 可能なら増やす
- 3) 変わらない
- 4) やや減らす

5) 大幅に減らす

≫愛甲地域の事業承継または継承意識を確認するための質問

質問（13）

経営者の年齢についてお聞かせください。経営者の年齢はおいくつですか。

歳
---

質問（14）

事業を将来に渡り継続する場合、後継者や後継者候補の存在が必要ですが、現在、思いあたる後継者や後継者候補は社内外問わずに存在しますか。事業承継や継承を考える年齢に達していない経営者も回答ください。その際、信頼できる社員の有無について回答してください。

- 1) 存在する
- 2) どちらとも言えない(悩んでいる)
- 3) 存在しない
- 4) 現経営者の引退とともに事業を止める考えである
- 5) 承継や継承を考える年齢に達していないが、信頼できる社員が存在する
- 6) 承継や継承を考える年齢に達していない、信頼できる社員も存在しない

≫愛甲地域事業者の設備投資意欲を把握するための質問

質問（15）

本年は昨年に比べ設備投資はどうでしたか？当てはまるものを「○」で選んでください。

- 1) 将来の売上確保のために積極的に投資した
- 2) 修繕や保守を目的に投資した
- 3) 特に投資していない

質問（16）

来年の設備投資見通しは、当年の推移から判断すると、どのような予想でしょうか？当てはまるものを「○」で選んでください。

- 1) 売上確保のために積極的に増やす
- 2) 修繕や保守を目的に増やす
- 3) 今のところ投資する予定は無い

≫愛甲地域特性を踏まえた事業化動向を把握するための質問

質問（17）

愛甲の地域において人口が減少しています。そのため将来に渡り、内需の減少傾向が否めません。そこで質問です。本年において、愛甲地域以外の方々向けの「商品」や「サービス」を開発し、提供した実績があるか否か教えてください。

- 1) ある
- 2) 愛甲地域以外の方々向けと意識したわけでは無いが、地域外でも有用なものである

3) ない

上記で1) ある、2) 愛甲地域以外の方々向けと意識したわけでは無いが、地域外でも有用なものである、に○をした方に質問です。可能でしたら簡単にその商品やサービスを記載ください。参考になるインターネット URL や商品やサービスの紹介チラシを本アンケートに添付いただいてもかまいません。

#### 質問（18）

来年以降、愛甲地域外向けの「商品」や「サービス」を開発し、提供していく計画や思いがありますか。当てはまるものを「○」で選んでください。

1) 積極的に進める      2) 可能であれば進めたい      3) 今のところ計画や思いも無い

上記で1) または2) を選択した方に質問です。差し支えない範囲で検討内容を簡潔にご紹介ください。参考になるインターネット URL や商品やサービスの紹介チラシを本アンケート送付時に添付いただいてもかまいません。あるいは、他社事例で類似するものがありましたら、そちらのインターネット URL や商品やサービスの紹介チラシを本アンケート送付時に添付いただいてもかまいません。

#### 質問（19）

愛甲地域には電車が無く、公共交通機関はバスが主になります。そのため愛甲地域に訪れる方々は、仕事でもプライベートでも、車を利用されます。そこで質問です。本年において、車利用の方々が利用しやすい「商品」や「サービス」を開発し、提供した実績があるか否か教えてください。

1) ある      2) 意識したわけでは無いが、車利用の方々が利用しやすい商品やサービスである  
3) ない

上記で1) ある、2) 意識したわけでは無いが、車利用の方々が利用しやすい商品やサービスである、に○をした方に質問です。可能でしたら簡単にその商品やサービスを記載ください。参考になるインターネット URL や商品やサービスの紹介チラシを本アンケートに添付いただいてもかまいません。

## 質問（20）

来年以降、車利用の方々向けの「商品」や「サービス」を開発し、提供していく計画や思いがありますか。当てはまるものを「○」で選んでください。

- 1) 積極的に進める      2) 可能であれば進めたい      3) 今のところ計画や思いも無い

上記で1) または2) を選択した方に質問です。差し支えない範囲で、検討内容を簡潔にご紹介ください。参考になるインターネット URL や商品やサービスの紹介チラシを本アンケート送付時に添付いただいてもかまいません。あるいは、他社事例で類似するものがありましたら、そちらのインターネット URL や商品やサービスの紹介チラシを本アンケート送付時に添付いただいてもかまいません。

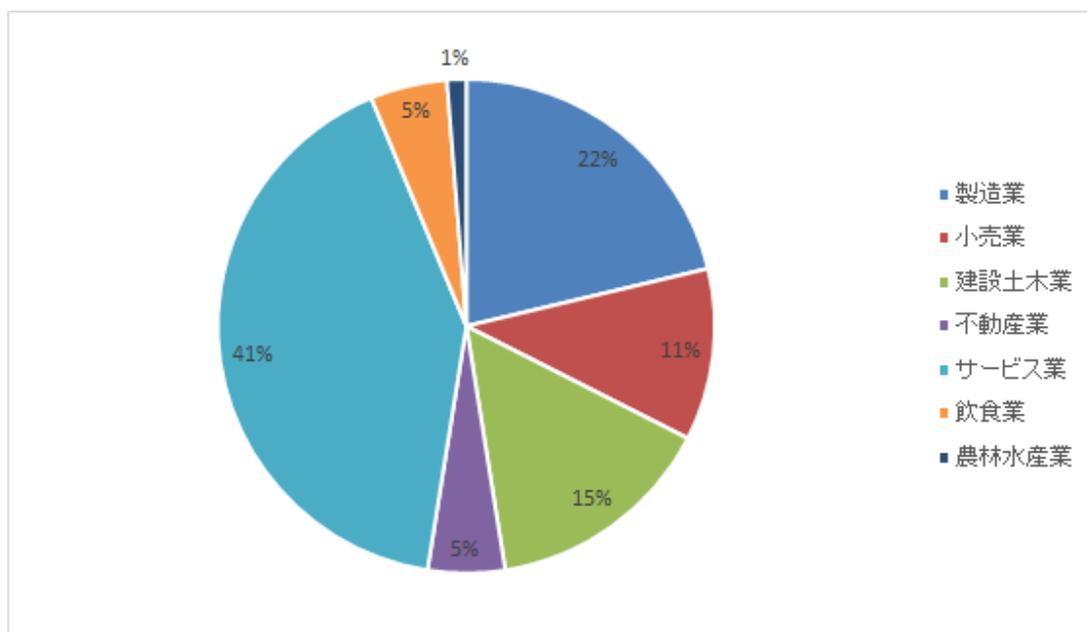
--

#### 4. 地域経済動向調査の全体集計とグラフ化

##### (1) 回答事業者の素性と業種構成比

製造業	17
卸売業	0
小売業	9
建設土木業	12
不動産業	4
サービス業	33
飲食業	4
農林水産業	1
その他	0
合計	80

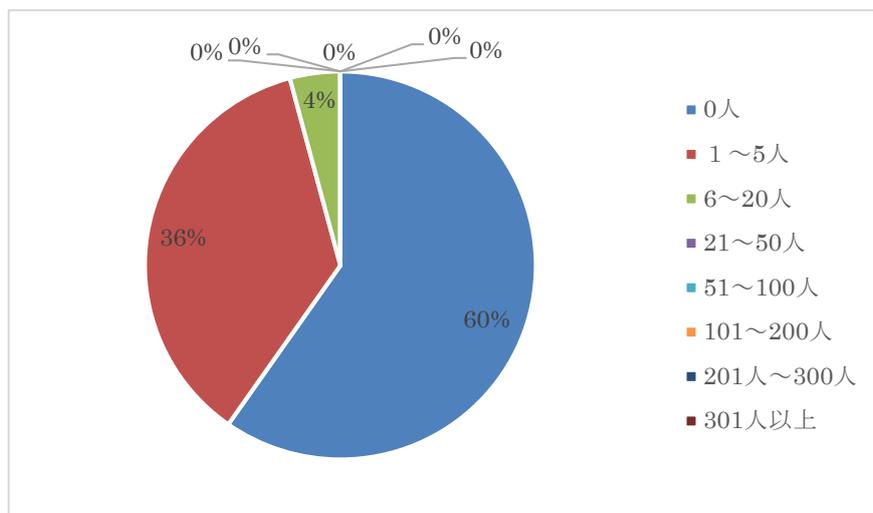
(回答事業者数)



(回答事業者構成比)

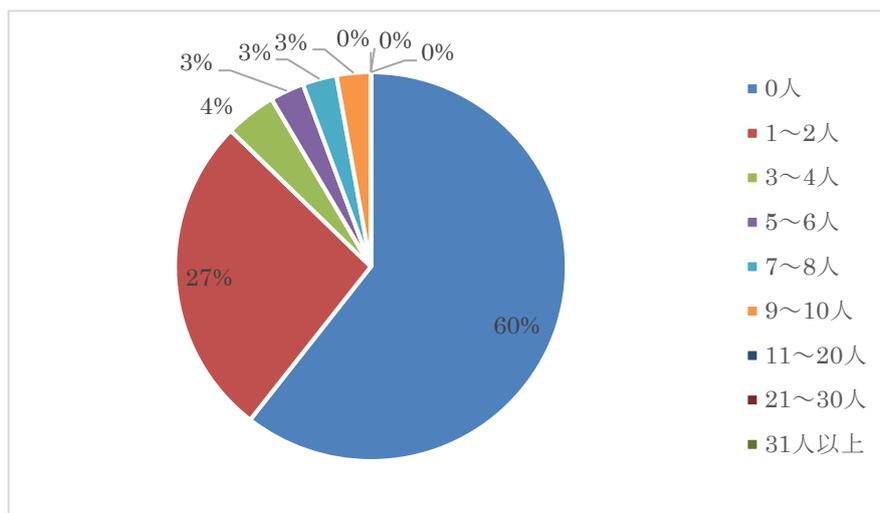
## (2) 事業者の従業員の人数

\*従業員：常時雇用の正規社員のこと。役員除く。個人事業の場合は、親族除く。パートやアルバイトは含まない

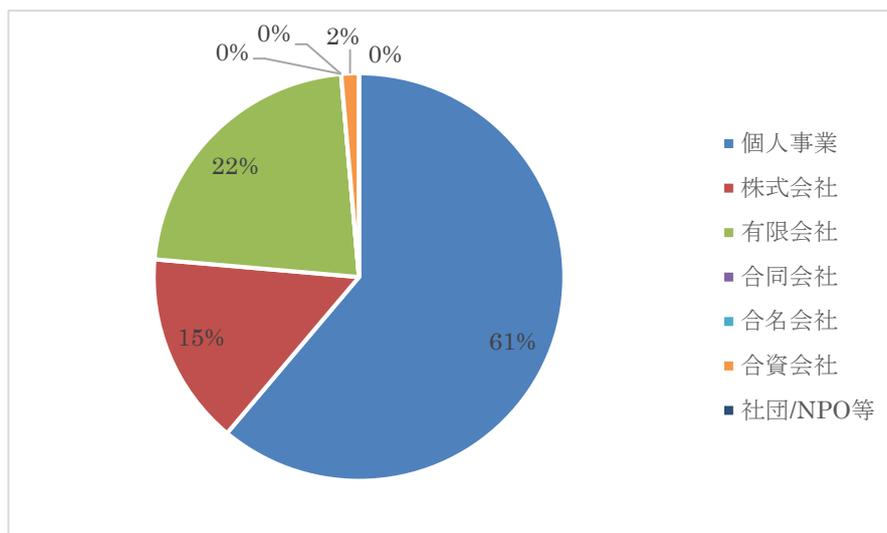


## (3) パート・アルバイトの雇用人数

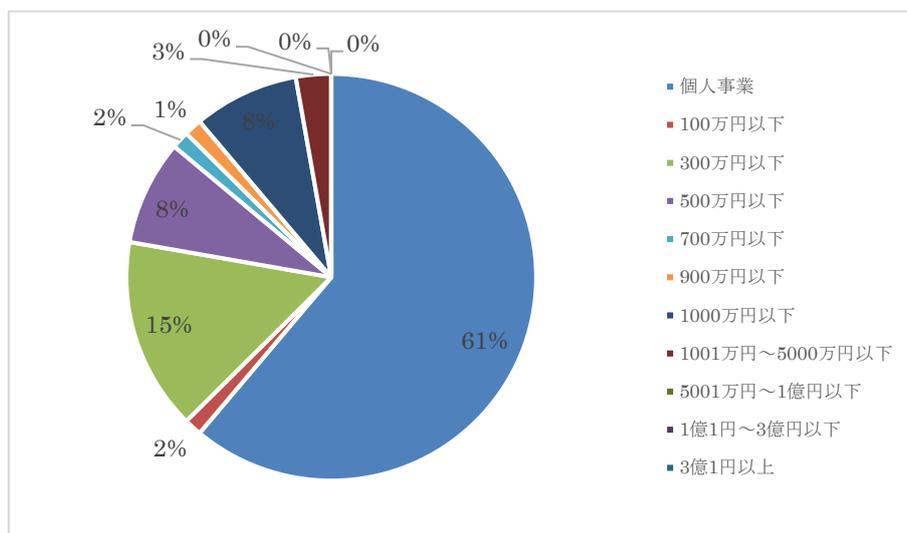
パート、アルバイト：時給を決め、時間管理で雇用している従業員



#### (4) 事業形態

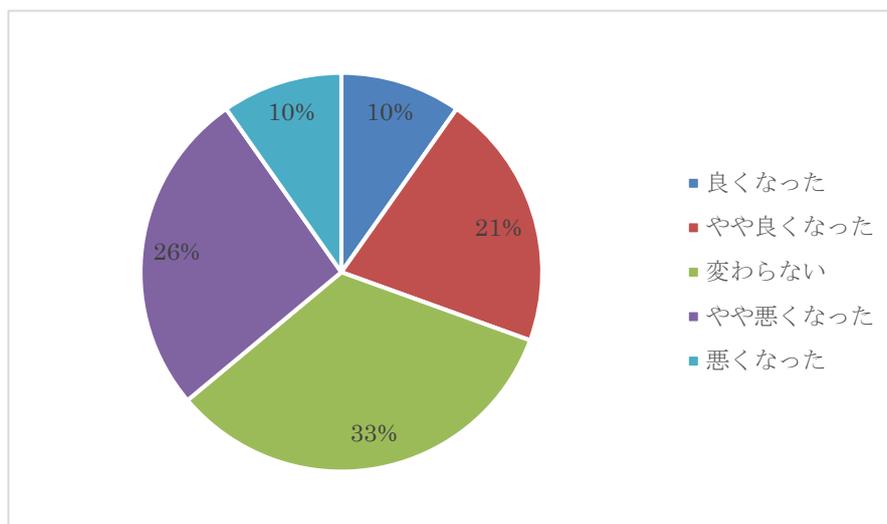


#### (5) 資本金の額



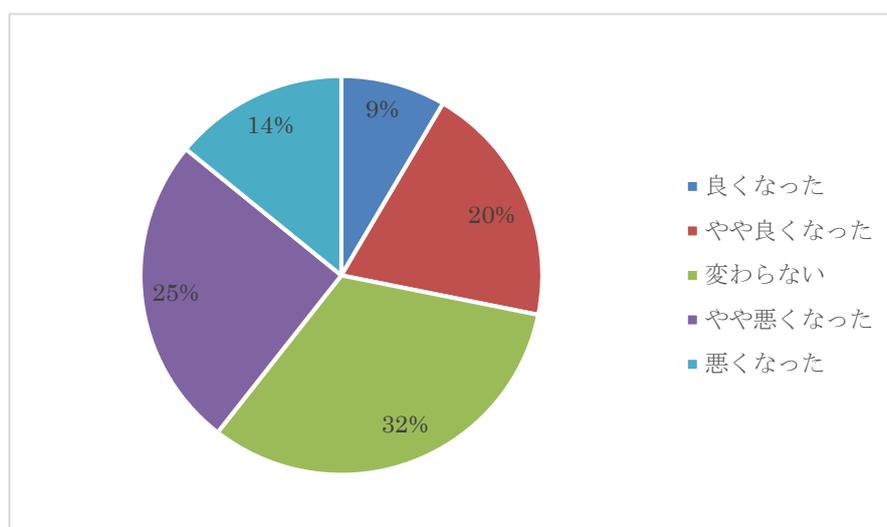
(6) 業績の結果の考察

令和元年の業績の結果の解釈(平成30年比) 業績：売上-費用=利益



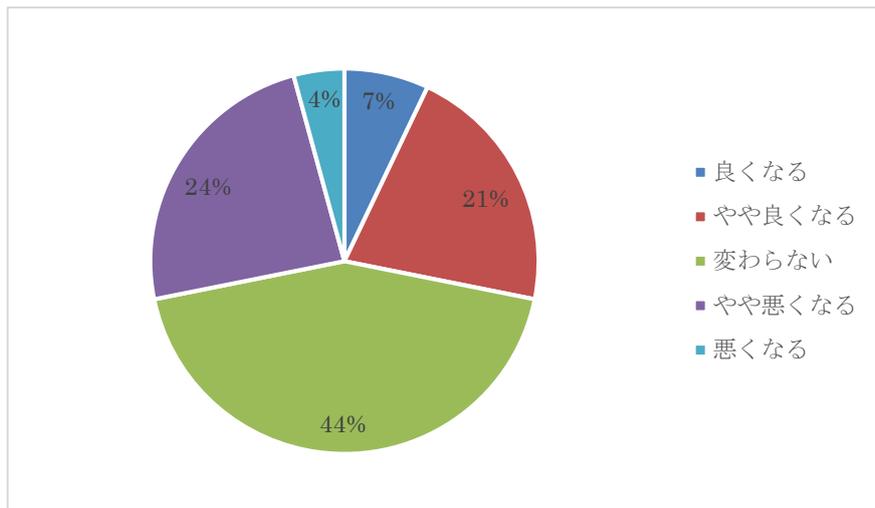
(7) 売上の結果の考察

令和元年の売上の結果の解釈(平成30年比)



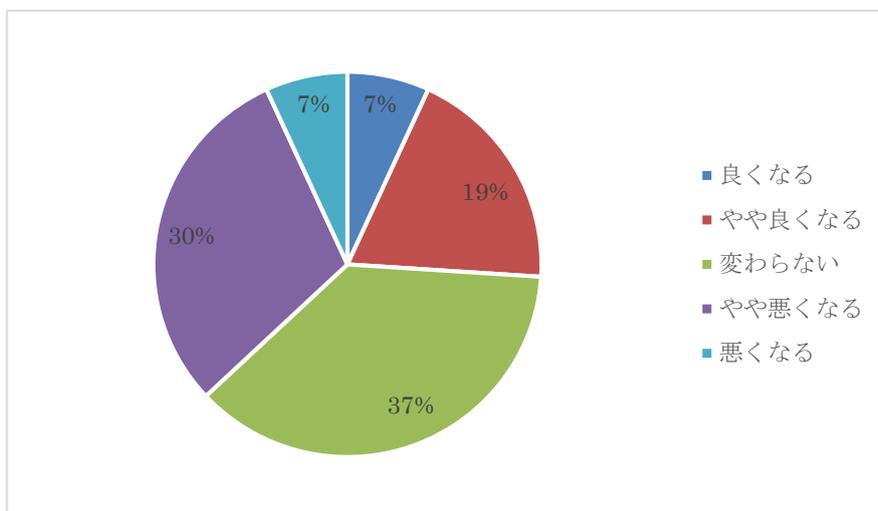
(8) 業績の見通し

令和2年の業績の見通し（令和元年比）



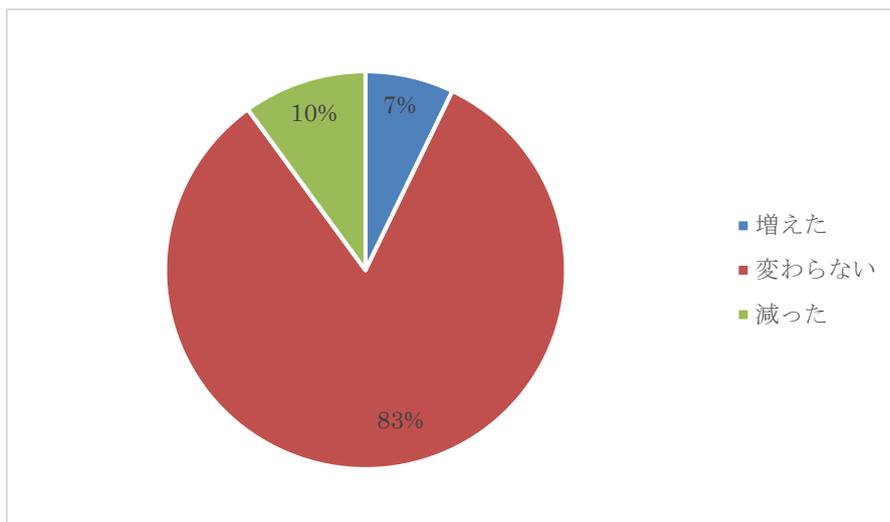
(9) 売上の見通し

令和2年の売上の見通し（令和元年比）



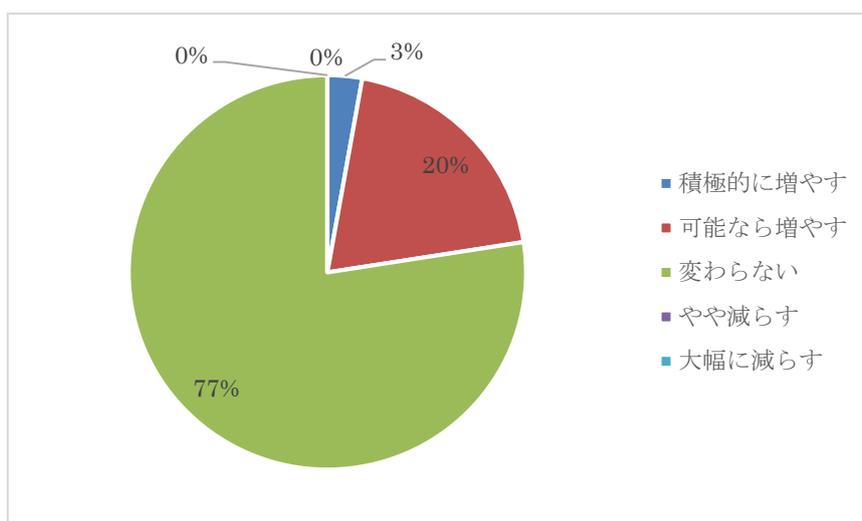
(10) 雇用の結果の考察

令和元年の雇用結果の解釈（平成30年比）

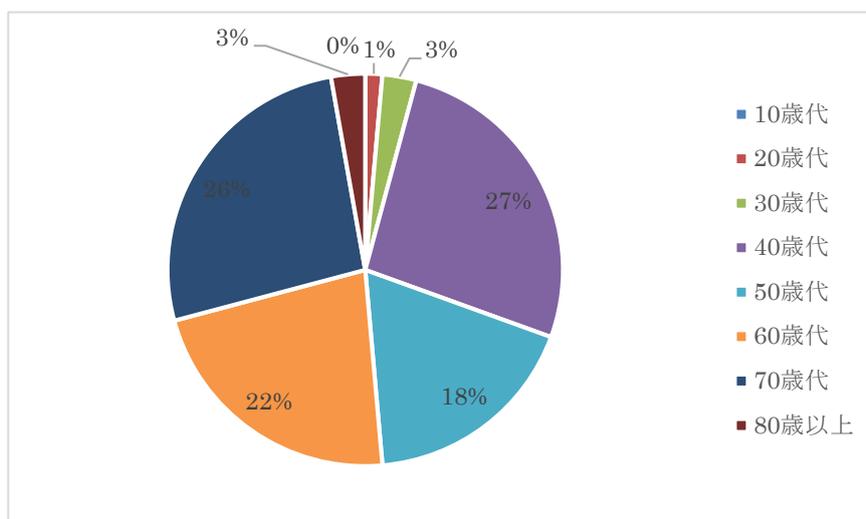


(11) 雇用の見通し

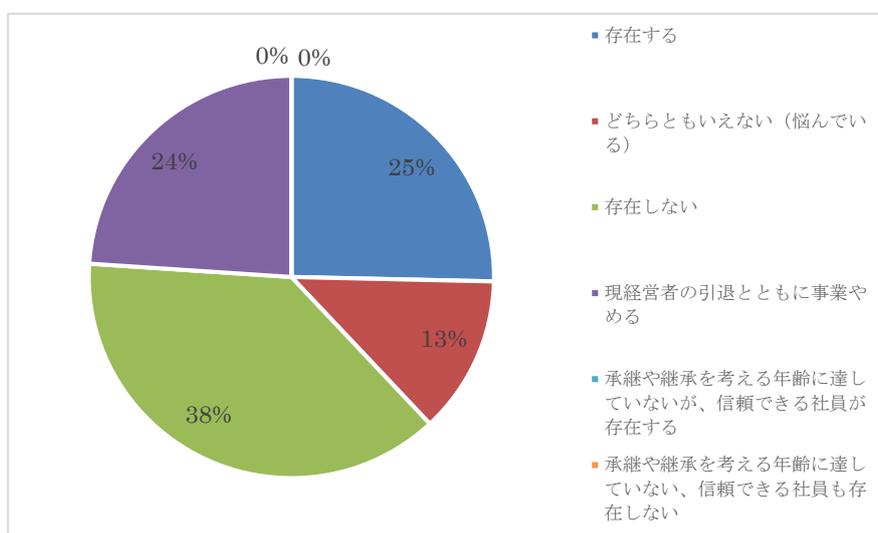
令和2年の雇用の見通し（令和元年比）



(12) 事業者の年齢構成比

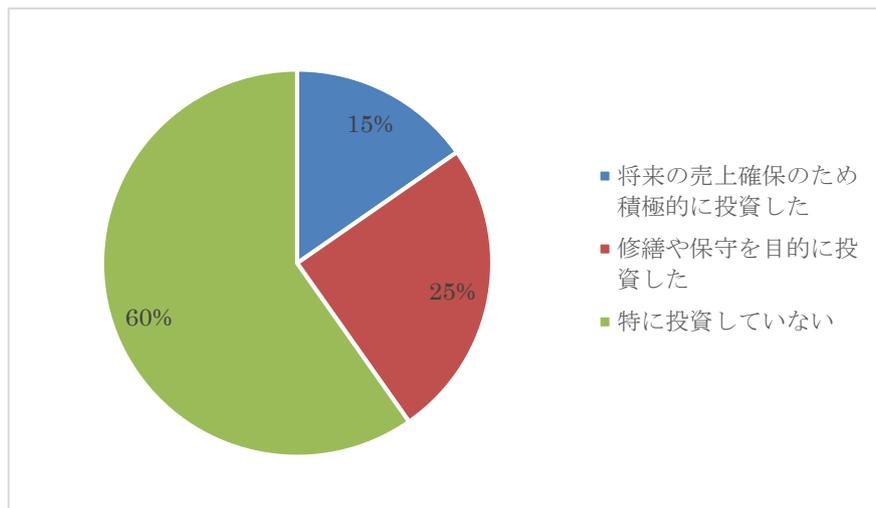


(13) 社内外後継者候補の状況



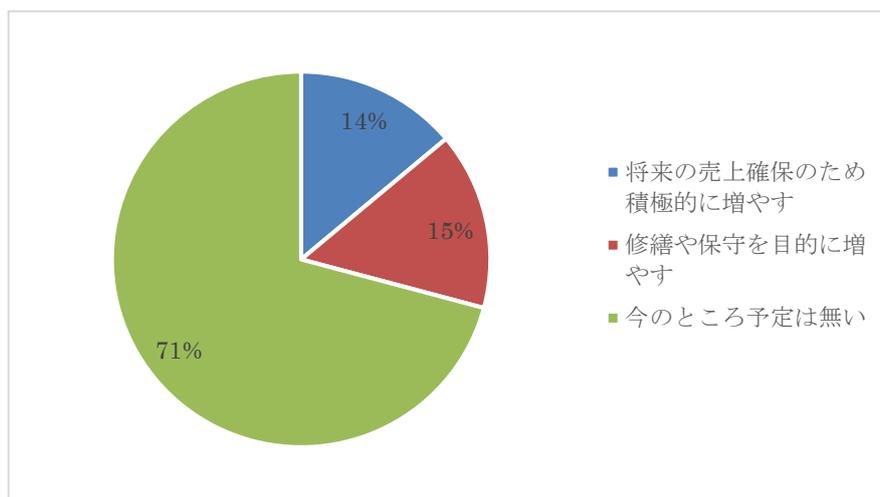
#### (14) 設備投資の結果の考察

令和元年の設備投資の結果の解釈（平成30年比）



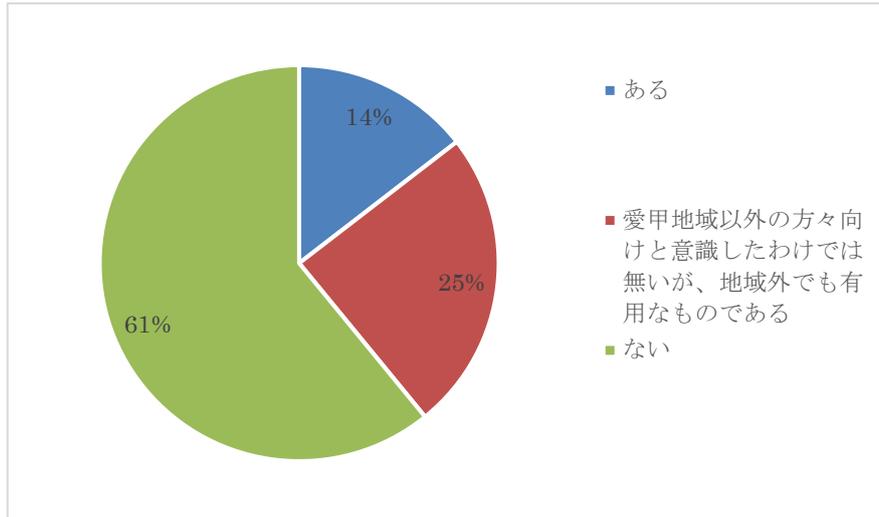
#### (15) 設備投資の見通し

令和2年の設備投資の見通し（令和元年比）



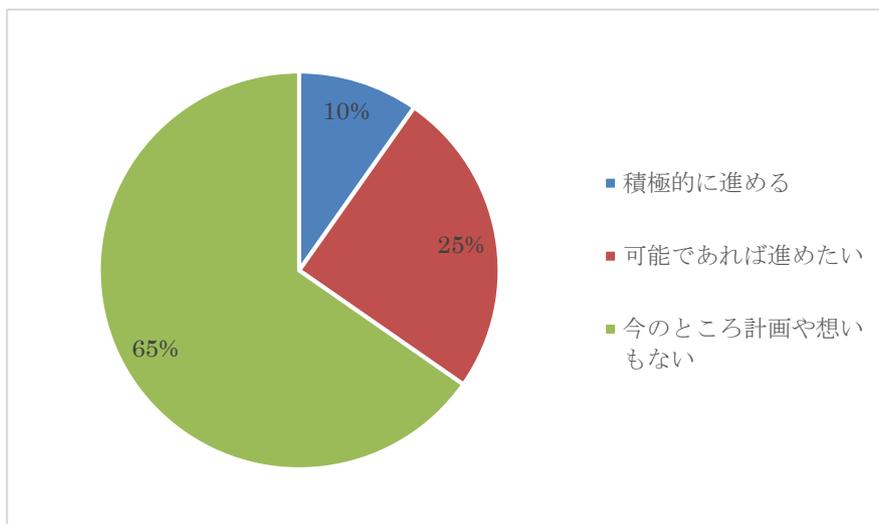
(16) 域外需要開拓の取り組み実績

令和元年の地域外向け商品やサービスへの取り組み状況



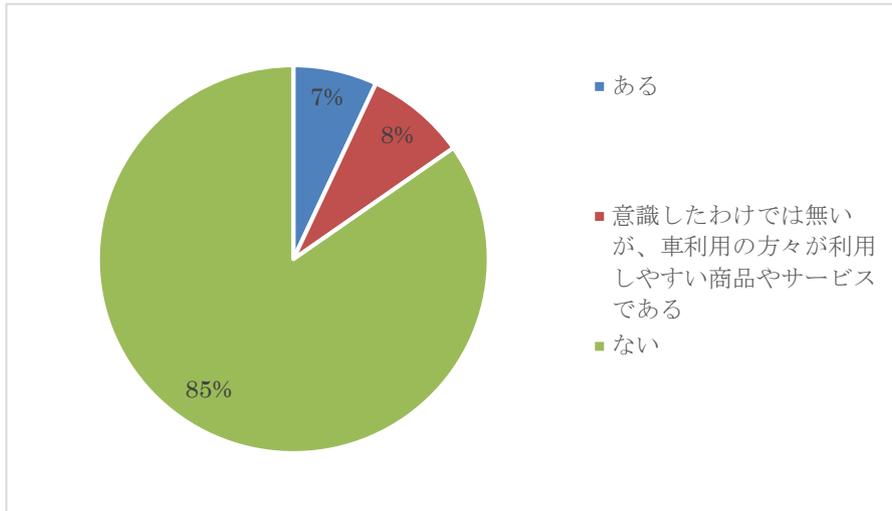
(17) 域外需要開拓の取り組み見通し

令和2年の地域外向け商品やサービスへの取り組み見通し



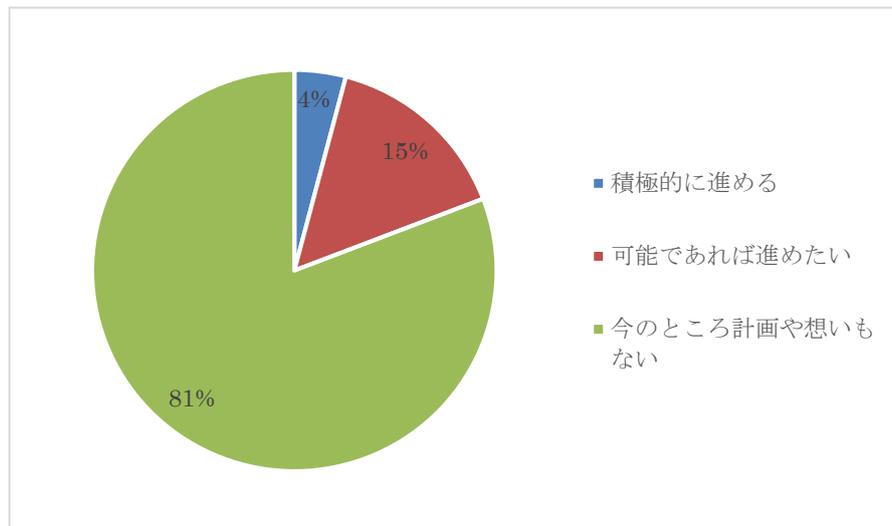
(18) 主要交通機関「車」利用者向け商品やサービスの取り組み実績

令和元年の「車」利用者向け商品やサービスの取り組み状況



(19) 主要交通機関「車」利用者向け商品やサービスの取り組み見通し

令和2年の「車」利用者向け商品やサービスの取り組み見通し



## 5. 各種 2 次データと比較した個社の特徴

下表の 2 次データと比較することで、愛甲商工会管内の個社や主な業種別の課題を検討した。その中で、管内で特徴的な論点が数点存在したため、以下に紹介する。

経営指標関連	国民生活金融公庫(中小企業の経営指標) TKC (TKC 経営指標) 中小企業庁 (中小企業の経営指標)
商業売上高関連	経済産業省 (商業統計表)
工業生産高関連	経済産業省 (工業統計表)
サービス業関連	経済産業省 (特定サービス業実態調査)
事業所関連	総務省 (事業所統計)
市場規模関連	矢野経済研究所 (マーケットシェア事典) 富士経済 (業界別マーケットシェア動向)

### ・経営者の年齢から見た経営取組姿勢の考察

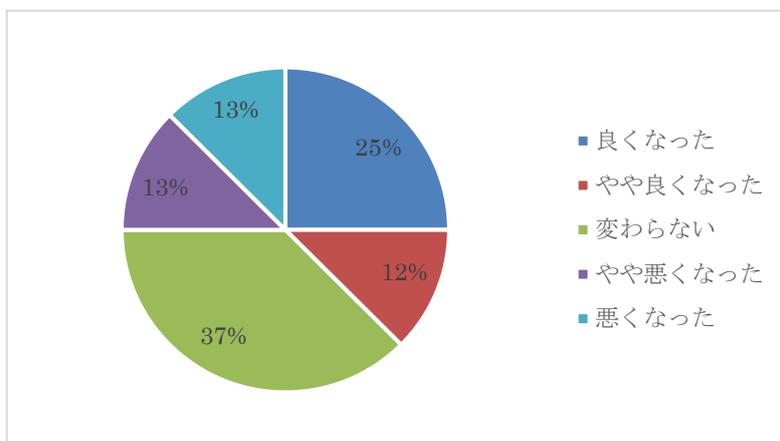
本項では、管内の経営者の高齢化が課題に上がっているため、高齢化が経営や事業運営姿勢にどのように表出するのかの考察を試みた。以後の記述では、高齢と若年という言葉を活用するが、以下の定義の通りである。

高齢：60 歳以上の経営者を指す      若年：60 歳未満の経営者を指す

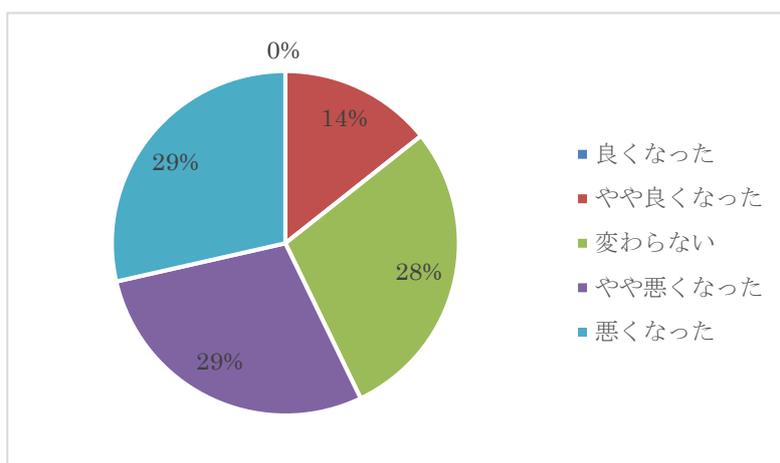
### 〈製造業の経営状況〉

経営者が若い方が、経営業績が芳しくない傾向が読み取れた。管内に所在する製造業の製造内容を確認していくと、経験と勘、さらには技術的な蓄積が求められる内容も多い。そのため、経営年数の蓄積が経営の「功」に大きく影響することが理解できる。

(高齢経営者の経営状況)



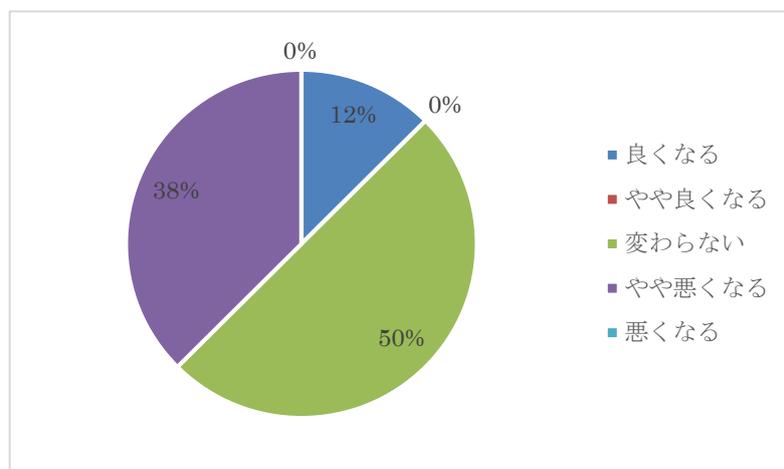
(若年経営者の経営状況)



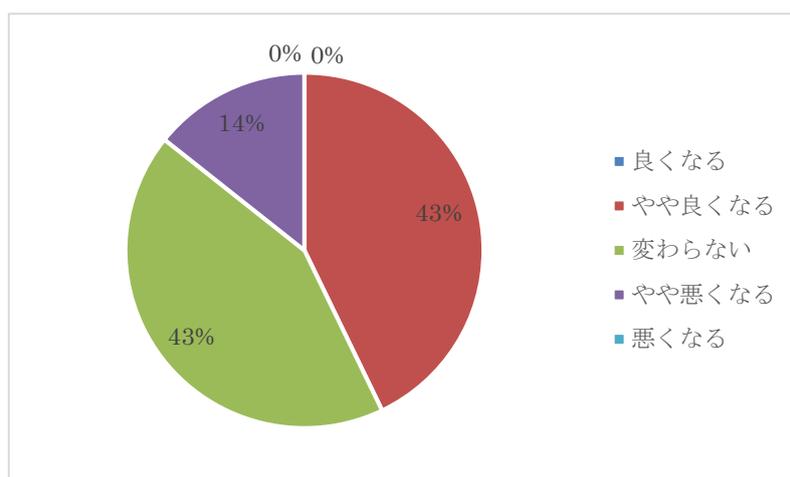
### 〈製造業の経営見通し〉

下グラフが示す通り、経営者が若いほど、今後の業績の見通しが明るい傾向が読み取れた。これは、若年経営者の方が、営業活動に前向きで、多少の技術的課題があっても、チャレンジしたいとする意向が高いためだと推察できる。

(高齢経営者の経営見通し)



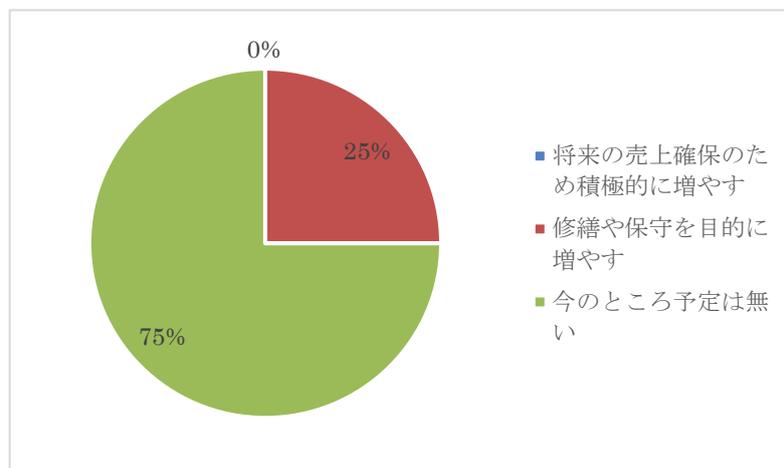
(若年経営者の経営見通し)



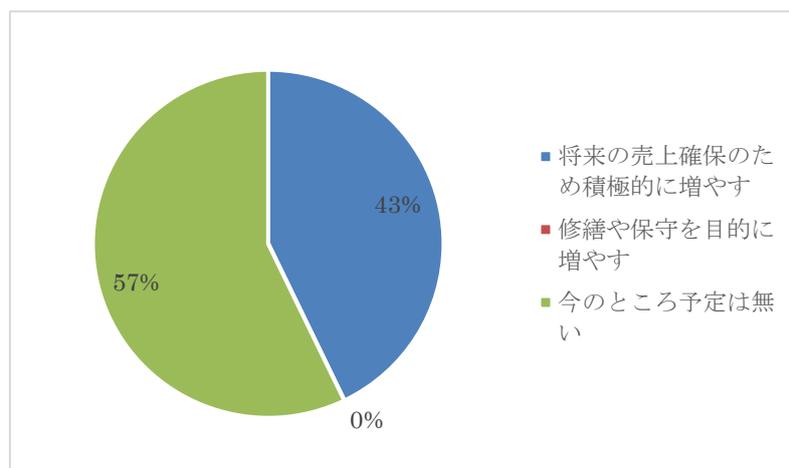
### 〈製造業の設備投資見通し〉

下グラフが示す通り、経営者が若年であるほど、設備投資意欲が高いことが読み取れた。経験と勘、さらには技術的な蓄積が求められる製造内容の事業者ほど、高機能、高性能の機械化を進め、経営資源の蓄積により、経営年数の若さをリカバーしようとする意志が垣間見えた。

(高齢経営者の設備投資見通し)



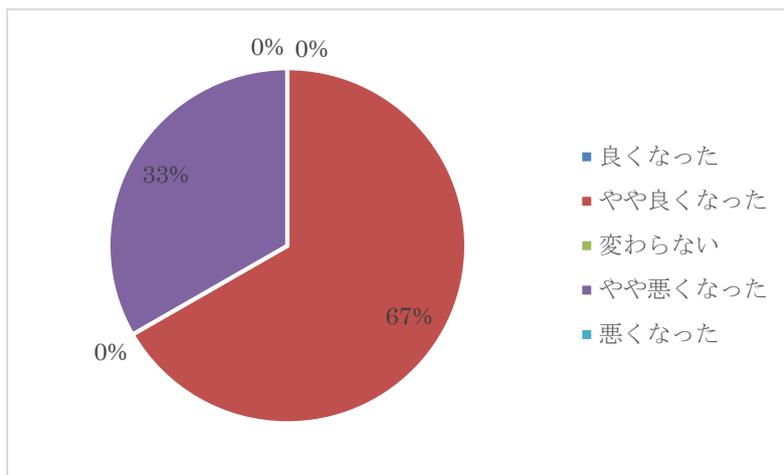
(若年経営者の設備投資見通し)



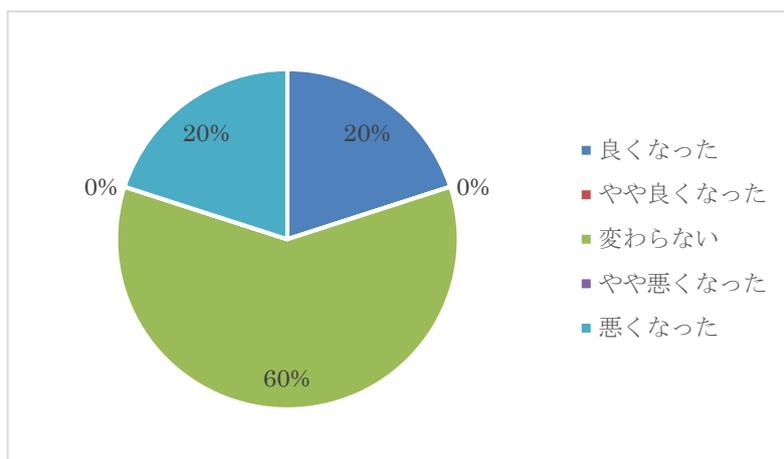
### 〈小売業の経営状況〉

下グラフが示す通り、経営者が高齢の方が、業績が良好である傾向がみられた。これは管内で長年経営をする中で、高齢客を囲い込んできた結果であると推察できる。

(高齢経営者の経営状況)



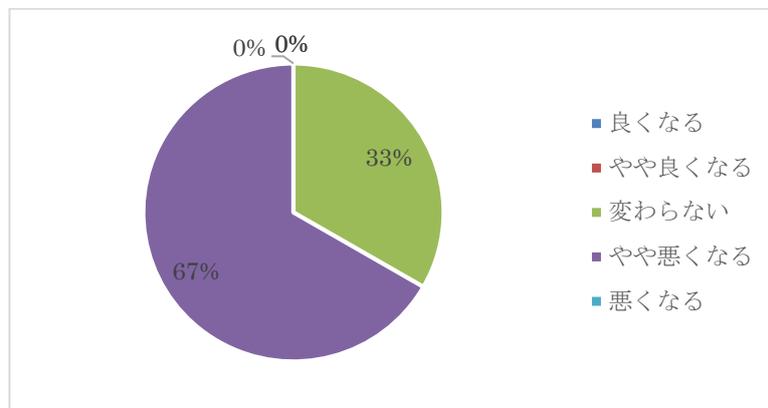
(若年経営者の経営状況)



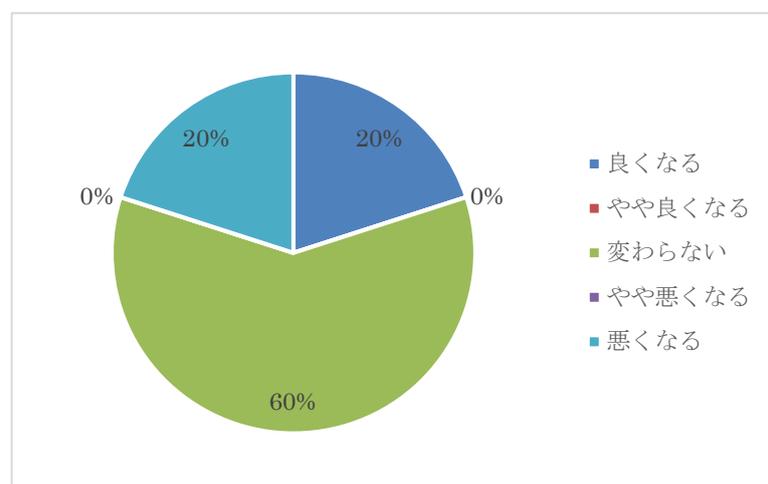
### 〈小売業の経営見通し〉

下グラフが示す通り、経営者が若年の方が、業績見通しが良好である傾向がみられた。若年経営者の方には危機感があり、web等を活用した集客努力が背景にある。

(高齢経営者の経営見通し)



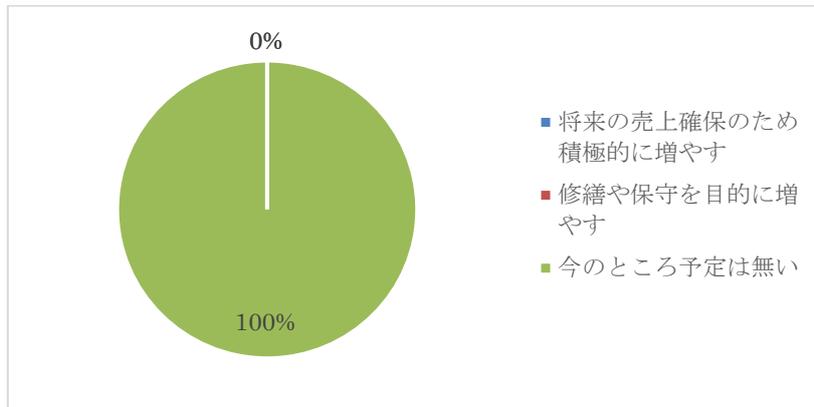
(若年経営者の経営見通し)



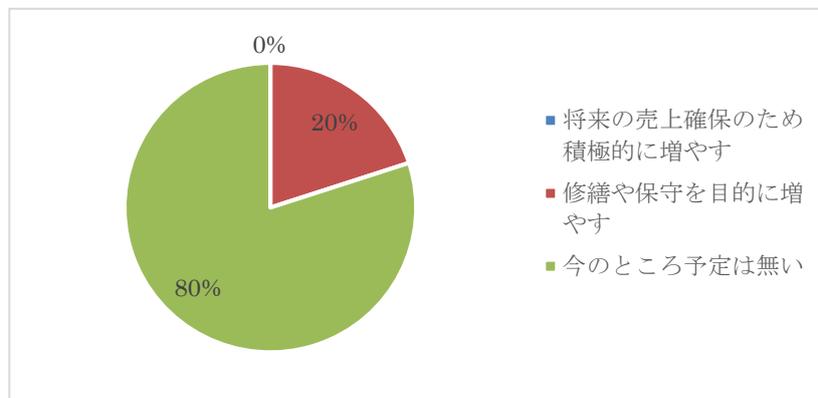
### 〈小売業の設備投資見通し〉

下グラフからわかるとおり、若年経営者の方が設備投資意欲が高い傾向がある。しかしながら、修繕など保守要素が強く、売上獲得のための積極策は見えてこない。

(高齢経営者の設備投資見通し)



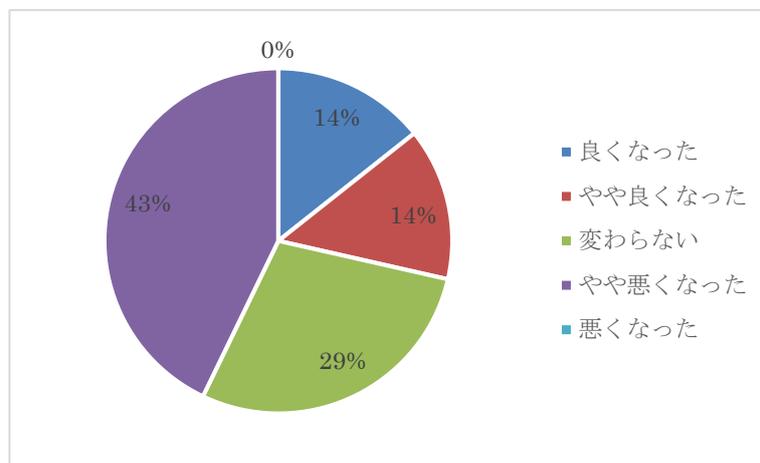
(若年経営者の設備投資見通し)



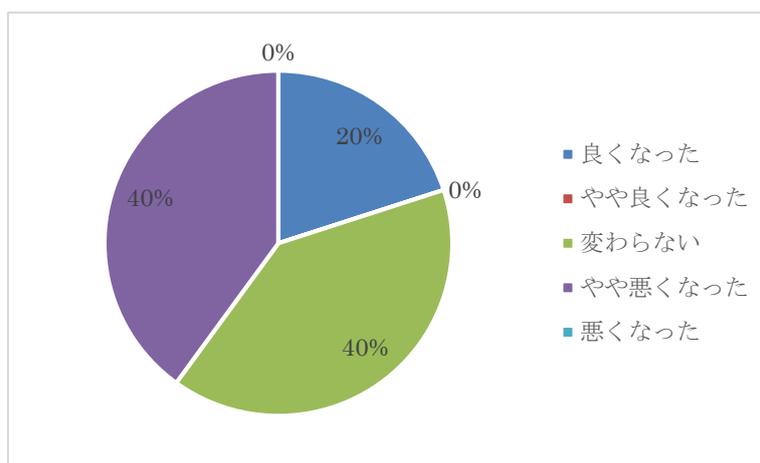
### 〈建設土木業の経営状況〉

下グラフより、高齢経営者の方が良好と回答する比重が高い傾向がある。地域内や隣接市町村での長年の経営により、若年経営者より「顔が利く」ため、案件獲得に有利だと推察できる。

(高齢経営者の経営状況)



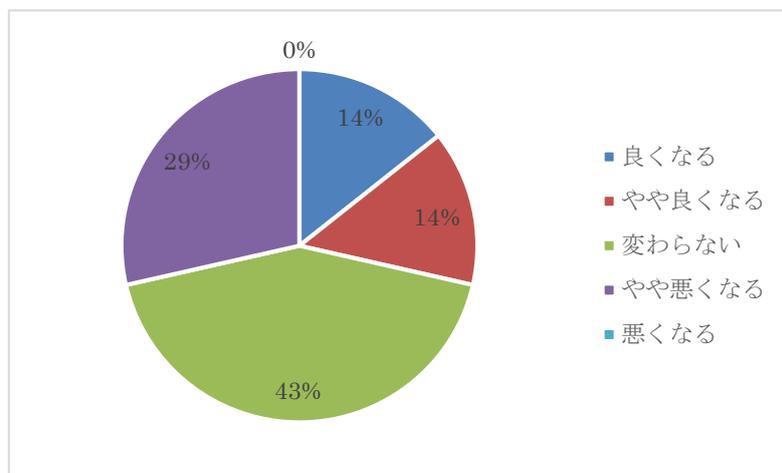
(若年経営者の経営状況)



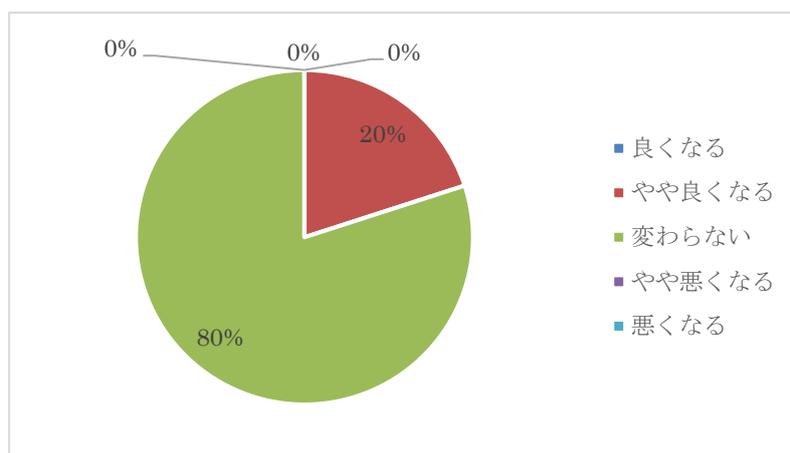
### 〈建設土木業の経営見通し〉

下グラフより、高齢経営者の方が見通しが明瞭である。若年経営者は市場動向の観察に伸長な傾向があり、日々の実感から、将来が見通せないことが背景にありそうである。

(高齢経営者の経営見通し)



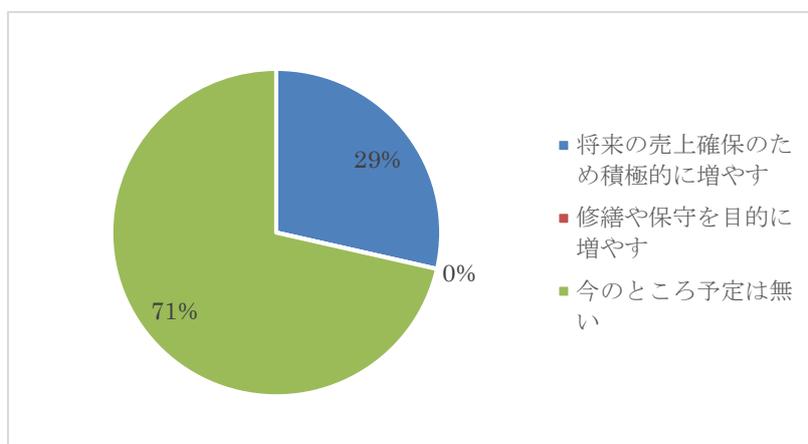
(若年経営者の経営見通し)



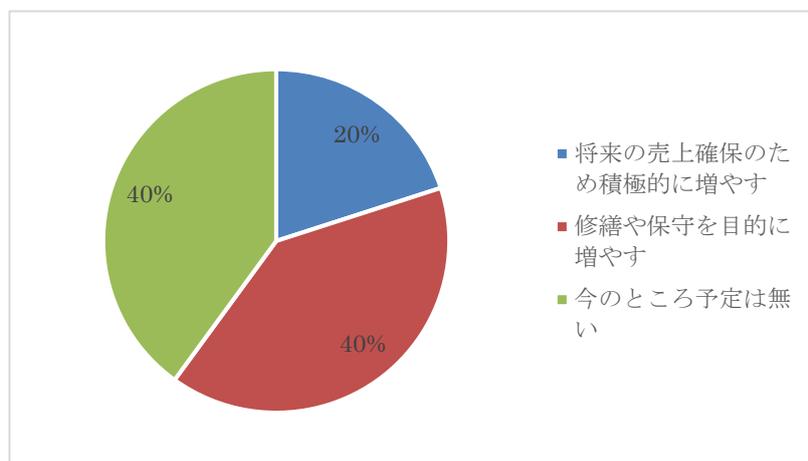
### 〈建設土木業の設備投資見通し〉

下グラフからわかるとおり、高齢経営者の方が、設備投資意欲が低い傾向がある。若年経営者は、将来を見据えて、必要な投資や保守に積極的である。

(高齢経営者の設備投資見通し)



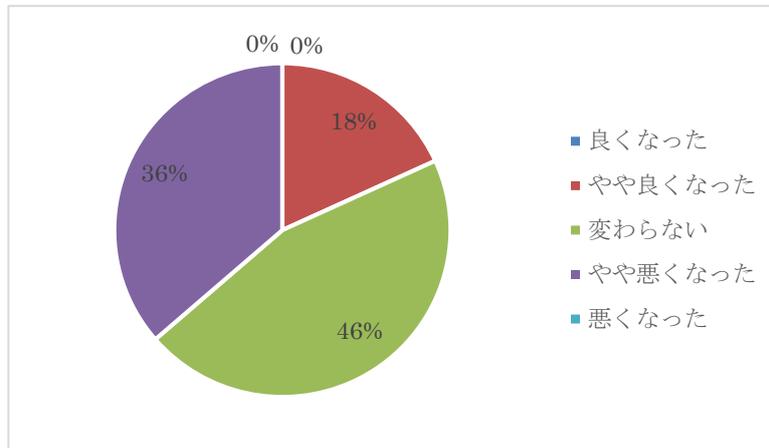
(若年経営者の設備投資見通し)



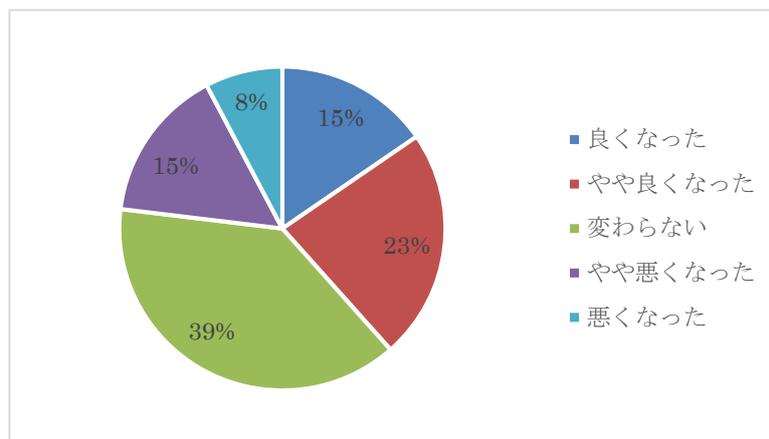
### 〈サービス業の経営状況〉

下グラフより、高齢経営者の方が業績が悪くなったとする回答が多い。既存顧客は兎も角として、新規顧客の囲い込みには web での需要開拓が重要な要素であることに起因しそうである。web を中心とした顧客開拓において、高齢経営者の方が不得意とする方が多い傾向が背景にある。

(高齢経営者の経営状況)



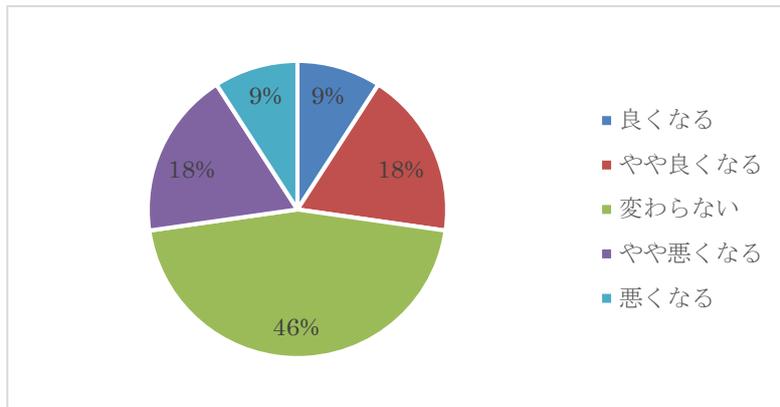
(若年経営者の経営状況)



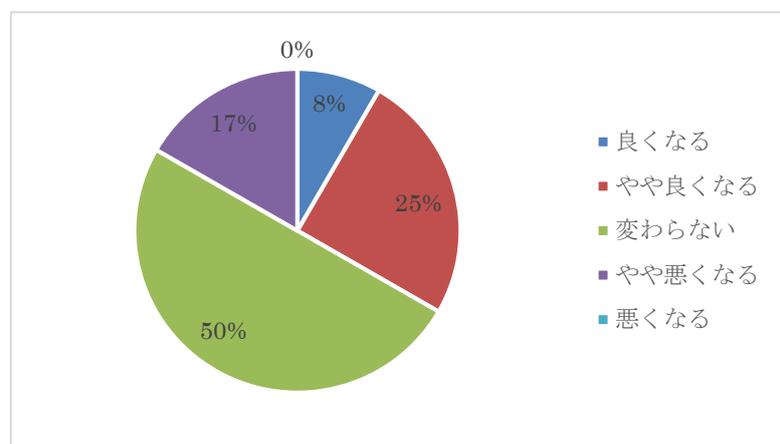
### 〈サービス業の経営見通し〉

下グラフより、若年経営者の方が業績見通しが明るい。これは若年経営者の方が営業姿勢が積極的であり、web等の販路開拓ツールにも明るいことが背景にある。

(高齢経営者の経営見通し)



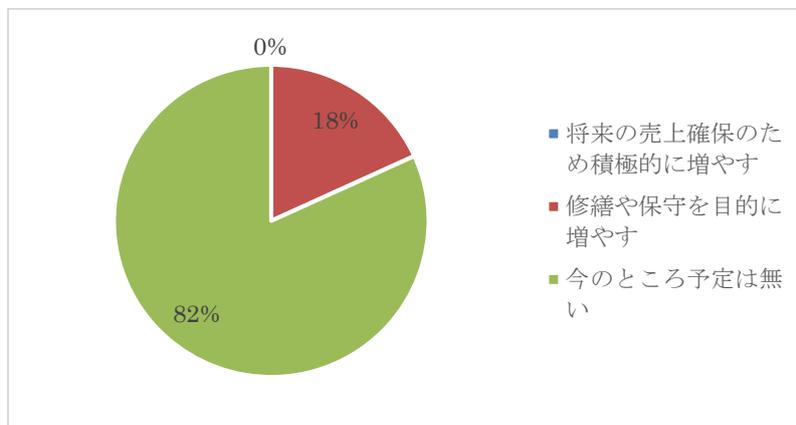
(若年経営者の経営見通し)



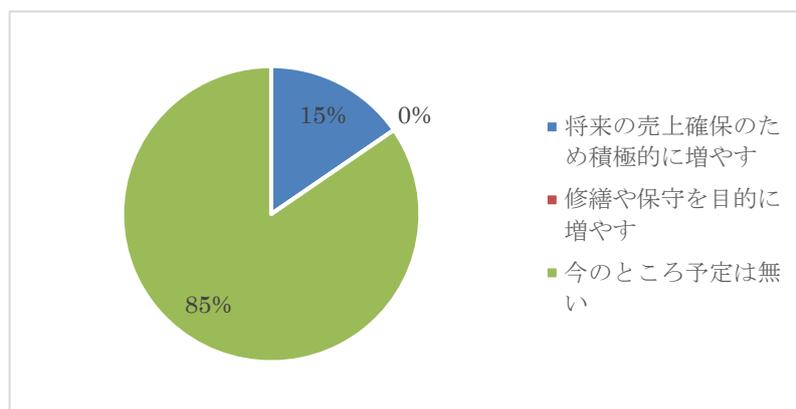
### 〈サービス業の設備投資見通し〉

下グラフより、若年経営者、高齢経営者ともに設備投資意欲が低いことが読み取れた。管内の個社に着眼すると、概ね人的サービスが主であり、必要設備等は既に充足されていることが背景にありそうである。

(高齢経営者の設備投資見通し)



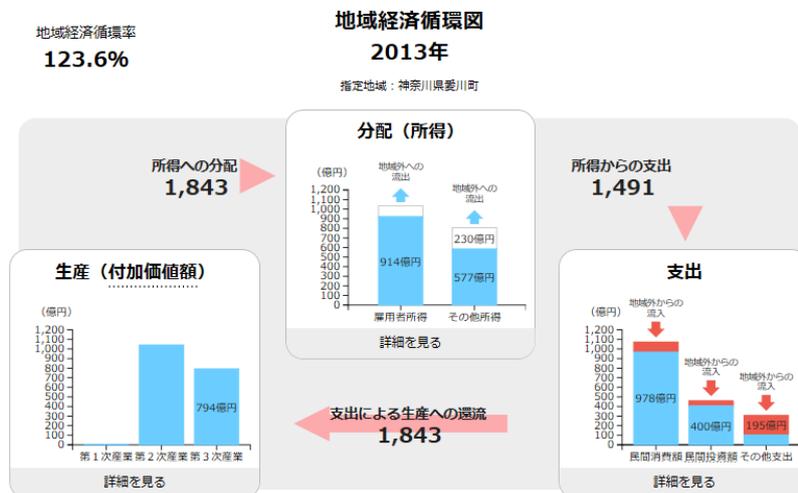
(若年経営者の設備投資見通し)



## 〈愛川町の産業構造について〉

愛川町の産業から生み出される付加価値の多くは、3次産業、2次産業からである。総額は約2000億円程度であり、そのうち1843億円が「所得（分配）」に回っている。なお、所得のうち1491億円が愛川町に消費として還元されている。

留意したいのは、所得（分配）のうち、約300億円程度が地域外に流出していることである。



(愛川町の地域経済 出所：RESAS 地域経済分析システム利用により算出)

以上のことから以下の4つの視点での個社の取り組みが重要になる。

### その①

小売業やサービス業、飲食業は、町外からの消費支出を囲い込める「魅力ある個店創り（品揃えやメニュー化等々）」を進め、町外に流出している約300億円の獲得につながる活動を実施すべきである。

### その②

実情として、町内の雇用を担っているのは、製造業や建設土木業である。これらの事業者は、町民の雇用を促進することで、町外ではなく町民に人件費を支払う意識を高めていくことが重要である。

### その③

町民が町内で買い物を充足できるよう、個店の専門性を高め、アイテムの強化を図る一方、店舗間でラインの幅を広げる等、愛川町全体を1つの売場と見立て、「品揃えの充実」を図っていく必要がある。

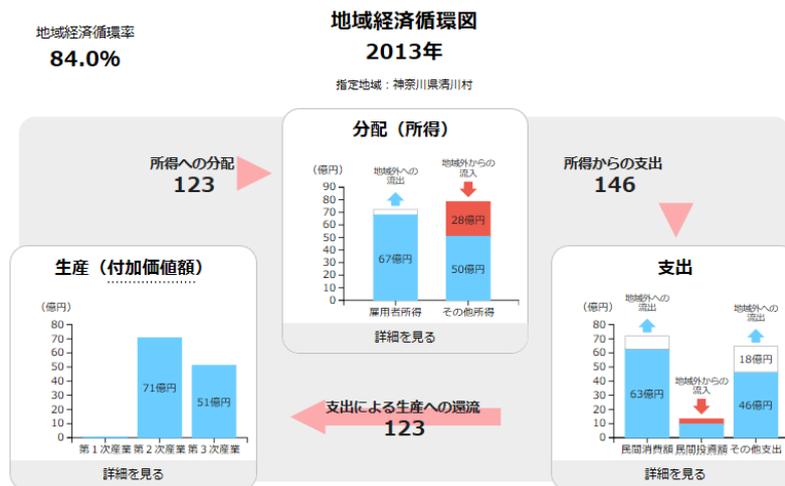
### その④

支出は可能な限り町内で行われるよう、消費者や事業者の日常の購買行動を見直す取り組みが期待される。

## 〈清川村の産業構造について〉

清川村の産業から生み出される付加価値の多くは、3次産業、2次産業からである。総額は約130億円程度であり、うち123億円が所得（分配）に回っている。さらには村民が村外で働くことにより得た所得（分配）が28億円あり、逆に村民以外のものが村内で働くことで払う給与として、村外に約3億円を流出している。

なお、所得のうち146億円を消費として支出しており、約30億円が村外に流出している。



(清川村の地域経済 出所：RESAS 地域経済分析システム利用により算出)

以上のことから以下の4つの個社の取り組みが重要になる。

### その①

小売業やサービス業、飲食業は、村外からの消費支出を囲い込める「魅力ある個店創り（品揃えやメニュー化等々）」を進めることで、村外からの消費を獲得したい。また、その一連の活動を通じて、村外に流出している約30億円の「村内」での消費喚起につなげていきたい。

### その②

製造業や建設土木業は、村外に流出している約3億円の人件費を村内に留めるべく、村民の雇用を促進していかなければならない。

### その③

村内が雇用の受け皿として不十分な場合、村民は積極的に村外で雇用され、村内に人件費を持ち帰るべきである。

### その④

支出は可能な限り村内で行われるよう、消費者や事業者の日常の購買行動を見直す取り組みが期待される。

## 6. 調査結果の視覚化（見える化）：景気判断（個社経営概況）指数

### ・本調査における景気動向指数（個社経営概況指数）の定義

本調査結果では、景気動向指数：ディフュージョンインデックス（略 DI）指数を採用し、地域経済の動向（個社経営概況）を見える化した。

具体的には、回答において「(やや) 良い」「(可能なら) 実施する」をDIでは強気（楽観的）（つまりプラスと表現）とし、「(やや) 悪い」「実施しない」をDIでは弱気（悲観的）（つまりマイナスと表現）とする。結果、景気動向指数は、強気、弱気の回答割合の差で示すことになる。なお、その割合の区分に応じて、天気図を採用し、さらに視覚的に認識しやすいように工夫している。

DI	天気図
30.1 以上	
10.1～30.0	
10.0～△10.0	
△10.1～△30.0	
△30.1 以下	

例えば、令和2年の売上高見通しが、以下のような回答の場合、経営者の令和2年の売上見通しは、強気（楽観的）であったことが視覚的にわかるようになる。



売上高 良い 50% 変わらない 30% 悪い 20%

(50% - 20% = 30%)

・全産業の DI 指数（全産業の景況天気図）

	業績		売上		設備投資	
令和元年結果	△5		△10		△20	
令和 2 年予想	1		△11		△42	

・業種別の DI 指数（業種別の景況天気図）

〈製造業〉

	業績		売上		設備投資	
令和元年結果	△19		△28		24	
令和 2 年予想	0		11		△38	

〈小売業〉

	業績		売上		設備投資	
令和元年結果	11		11		△50	
令和 2 年予想	△26		△38		△76	

〈建設土木業〉

	業績		売上		設備投資	
令和元年結果	△17		△8		△34	
令和 2 年予想	8		△9		△16	

〈不動産業〉

	業績		売上		設備投資	
令和元年結果	25		50		△50	
令和 2 年予想	0		0		0	

〈サービス業〉

	業績		売上		設備投資	
令和元年結果	0		△20		△42	
令和2年予想	△18		△8		△66	

〈飲食業〉

	業績		売上		設備投資	
令和元年結果	0		0		0	
令和2年予想	0		△25		0	

〈農林水産業〉

	業績		売上		設備投資	
令和元年結果	100		100		100	
令和2年予想	100		100		100	

## 7. 愛甲商工会オリジナル指数

### ・愛甲商工会オリジナル指数の定義

調査の結果、管内の個社の経営概況や、地域としての経済動向を垣間見ることができたが、より管内に適した管理指数として、以下の4つの指数を提案する。

指数名称	概要
事業承継や継承対策 意識指数	事業者の事業承継や継承は、地域経済の活況や躍動に非常に大きなインパクトを与える。そこで、経営者の事業承継や継承意識の向上と推進を目的に、本指数を設定する。なお集計対象は全業種で全産業として表現する。
地域内雇用推進 意識指数	地域の活況や、地域での消費額増加においては、域内事業者の雇用を促進していくことも大きな意義である。そこで本指数を設定し、雇用を推進する機運を域内に醸成していきたい。なお集計対象は全業種で全産業として表現する。
地域外向け商品サービス開発 意識指数	愛甲商工会管内の事業者は、相模原市内、八王子市等々に需要を奪われており、内需のみの生き残りは厳しい現状である。そのような現状にあって、域外の需要を囲い込むことは、域内個社の事業継続や成長に欠かせない視点だと考えている。なお、本指数を設定するにあたっては、集計対象は全業種で全産業として表現する。
ドライバー（車）利用者向け 商品サービス開発 意識指数	愛甲商工会管内は、交通の利便性が悪く、消費者の移動手段は概ね自家用車である。そのような現状にあって、ドライバーを囲い込む取り組みは、個社の事業継続や成長に欠かせない視点だと考えている。なお、本指数を設定するにあたっては、集計対象は全業種で全産業として表現する。

本指数の見える化にも天気図を採用する。具体的には、回答において「存在する」「進める」等の趣旨を強気（楽観的）（つまりプラスと表現）とし、「存在しない」「思いがない」等の趣旨を弱気（悲観的）（つまりマイナスと表現）とする。結果、指数は、強気、弱気の回答割合の差で示すことになる。

指数	天気図
60.1 以上	
30.1~60.0	
30.0~△30.0	
△30.1~△60.0	
△60.1 以下	

例えば、経営者が事業承継者について、以下のような回答の場合、経営者の事業承継実施意識指数は、強気（楽観的）であったことが視覚的にわかるようになる。



事業承継者の存在 存在する 50%    どちらとも言えない 30%    存在しない 20%  
 (50% - 20% = 30%)

・オリジナル指数の集計と結果

《事業承継や継承対策 意識指数》

当該指数の算出においては、質問 14 の回答結果のうち「存在する」「承継や継承を考  
える年齢に達していないが、信頼できる社員が存在する」を強気（楽観的）と判断し、  
「存在しない」といった主旨のものを弱気（悲観的）と判断している。

令和元年現状	
26	

（事業承継や継承対策 意識指数）

《地域内雇用推進 意識指数》

当該指数の算出においては、質問 11、質問 12 の回答結果を踏まえている。

令和元年現状		令和 2 年見通し	
△3		17	

《地域外向け商品サービス開発 意識指数》

当該指数の算出においては、質問 17、質問 18 の回答結果を踏まえている。

令和元年現状		令和 2 年見通し	
△22		△30	

《ドライバー（車）利用者向け 商品サービス開発 意識指数》

当該指数の算出においては、質問 19、質問 20 の回答結果を踏まえている。

令和元年現状		令和 2 年見通し	
△70		△62	

## 8. 金融機関向けアンケートの実施と融資先事業者の現状

金融機関の立場として、地域の個社はどのような経営概況なのかを知るため、以下のような内容でアンケートを実施した。アンケートの実施先金融機関は、愛甲郡内の4行である。

《アンケートの内容》

質問（1）融資先事業者の雇用の実態について

- ・ 本年の正規雇用の従業員数

回答欄	回答内容
	㊦大幅に増えている実感がある
	㊧少なからず増えている実感がある
	㊨増減無い実感である
	㊩少なからず減少している実感がある
	㊪大幅に減少している実感がある

- ・ 本年のパート、アルバイト（時給を決め、時間管理で雇用している従業員）の雇用人数

回答欄	回答内容
	㊦大幅に増えている実感がある
	㊧少なからず増えている実感がある
	㊨増減無い実感である
	㊩少なからず減少している実感がある
	㊪大幅に減少している実感がある

- ・ 来年の正規雇用の従業員数の見通し

回答欄	回答内容
	㊦大幅に増やすのではないかと予想している
	㊧少なからず増やすのではないかと予想している
	㊨増減無いのでは無いかと予想している
	㊩少なからず減少するのでは無いかと予想している
	㊪大幅に減少するのでは無いかと予想している

- ・ 来年のパート、アルバイト（\*）の雇用人数の見通し

（\*）時給を決め、時間管理で雇用している従業員の雇用人数

回答欄	回答内容
	㊦大幅に増やすのではないかと予想している
	㊧少なからず増やすのではないかと予想している

	㊦増減無いのでは無いかと予想している
	㊥少なからず減少するのでは無いかと予想している
	㊤大幅に減少するのでは無いかと予想している

質問（２）融資先事業者の業績の状況について

・ 本年の売上について

回答欄	回答内容
	㊦大きく増加した
	㊥少なからず増加した
	㊦増減が無い
	㊥少なからず減少した
	㊤大幅に減少した

・ 本年の利益(営業利益)について

回答欄	回答内容
	㊦大きく増加した
	㊥少なからず増加した
	㊦増減が無い
	㊥少なからず減少した
	㊤大幅に減少した

・ 来年の売上の見通しについて

回答欄	回答内容
	㊦大きく増加すると予想している
	㊥少なからず増加すると予想している
	㊦増減が無いと予想している
	㊥少なからず減少すると予想している
	㊤大幅に減少すると予想している

・ 来年の利益(営業利益)の見通しについて

回答欄	回答内容
	㊦大きく増加すると予想している
	㊥少なからず増加すると予想している
	㊦増減が無いと予想している
	㊥少なからず減少すると予想している

	㊦大幅に減少すると予想している
--	-----------------

質問（3）融資先事業者の設備投資状況について

・ 本年の設備投資について

回答欄	回答内容
	㊦売上確保に繋げる目的で、投資している事業者が多かった
	㊧修繕や保守を目的に、投資している事業者が多かった
	㊨投資を実施した事業者数は、少ない印象であった
	㊩投資を実施した事業者は無かった印象であった

・ 来年の設備投資の見通しについて

回答欄	回答内容
	㊦売上確保に繋げる目的で、投資する事業者が増える予想である
	㊧修繕や保守を目的に、投資する事業者が増える予想である
	㊨投資を実施する事業者は、少なくなると予想している
	㊩投資を実施する事業者は無い（0社）予想である

《調査結果の集計》

質問（１）融資先事業者の雇用の実態について

- ・ 本年の正規雇用の従業員数

回答数	回答内容
	㊦大幅に増えている実感がある
1	㊥少なからず増えている実感がある
3	㊧増減無い実感である
	㊤少なからず減少している実感がある
	㊣大幅に減少している実感がある

- ・ 本年のパート、アルバイト（時給を決め、時間管理で雇用している従業員）の雇用人数

回答数	回答内容
	㊦大幅に増えている実感がある
	㊥少なからず増えている実感がある
4	㊧増減無い実感である
	㊤少なからず減少している実感がある
	㊣大幅に減少している実感がある

- ・ 来年の正規雇用の従業員数の見通し

回答数	回答内容
	㊦大幅に増やすのではないかと予想している
	㊥少なからず増やすのではないかと予想している
3	㊧増減無いのでは無いかと予想している
1	㊤少なからず減少するのでは無いかと予想している
	㊣大幅に減少するのでは無いかと予想している

- ・ 来年のパート、アルバイト（\*）の雇用人数の見通し

（\*）時給を決め、時間管理で雇用している従業員の雇用人数

回答数	回答内容
	㊦大幅に増やすのではないかと予想している
1	㊥少なからず増やすのではないかと予想している
3	㊧増減無いのでは無いかと予想している
	㊤少なからず減少するのでは無いかと予想している
	㊣大幅に減少するのでは無いかと予想している

質問（2）融資先事業者の業績の状況について

・ 本年の売上について

回答数	回答内容
	㊦大きく増加した
2	㊥少なからず増加した
1	㊧増減が無い
1	㊤少なからず減少した
	㊣大幅に減少した

・ 本年の利益(営業利益)について

回答数	回答内容
	㊦大きく増加した
1	㊥少なからず増加した
2	㊧増減が無い
1	㊤少なからず減少した
	㊣大幅に減少した

・ 来年の売上の見通しについて

回答数	回答内容
	㊦大きく増加すると予想している
	㊥少なからず増加すると予想している
3	㊧増減が無いと予想している
1	㊤少なからず減少すると予想している
	㊣大幅に減少すると予想している

・ 来年の利益(営業利益)の見通しについて

回答数	回答内容
	㊦大きく増加すると予想している
	㊥少なからず増加すると予想している
2	㊧増減が無いと予想している
2	㊤少なからず減少すると予想している
	㊣大幅に減少すると予想している

質問（3）融資先事業者の設備投資状況について

・ 本年の設備投資について

回答数	回答内容
1	㊦売上確保に繋げる目的で、投資している事業者が多かった
0	㊧修繕や保守を目的に、投資している事業者が多かった
3	㊨投資を実施した事業者数は、少ない印象であった
	㊩投資を実施した事業者は無かった印象であった

・ 来年の設備投資の見通しについて

回答数	回答内容
	㊦売上確保に繋げる目的で、投資する事業者が増える予想である
2	㊧修繕や保守を目的に、投資する事業者が増える予想である
2	㊨投資を実施する事業者は、少なくなると予想している
	㊩投資を実施する事業者は無い（0社）予想である

## 9. 調査に関するお問合せ先

愛甲商工会 和田宛て nwada@k-skr.or.jp